

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	重症児デイサービスmiagete (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R6年 10月 10日		～ R6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R6年 10月 11日		～ R6年 10月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 11月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の充実。	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で活動内容の検討とアイデアを出し、楽しい体験と感覚や五感の発達を考え行っている。 子供たちが取り組みやすいように試行錯誤しながら行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価しながら一人一人に合った活動の取り組み方や内容を模索していく。
2	子供の環境 大きい窓による採光や広い活動スペース、清潔で過ごしやすい環境。	<ul style="list-style-type: none"> 温度・湿度など常に気を配りながら過ごしやすい環境作りをしている。 掃除や整頓、清潔な環境を常に意識している。 死角ができないよう全体が見られるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しでも快適に過ごせるような環境作りを今後も作っていく。
3	職員間の連携による対応。	<ul style="list-style-type: none"> 変更や判断するときはその場ですぐに職員で話し合い進めていくことができる。 小さな情報でも共有できるように連携している。 	<ul style="list-style-type: none"> 終礼で振り返りを行っていきより連携と情報共有がとれるようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流。	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援では子育て支援センターに行き地域の子供たちと触れ合える場には行っているが、深く交流するという部分ではまだまだできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後地域の子供たちと交流できる場や機会を事業所主体となつて行えるようにする。
2	家族支援。	<ul style="list-style-type: none"> 開所して日が浅く、利用する子どもの人数が少なく実施に至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 親同士の交流する場や子供の成長や不安について情報共有していき、支援の確認と向上につなげられるようにしていきたい。
3	非常時の対応等。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時等についての対応や各マニュアルの説明が不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の対応について毎年確認してもらい。また、避難訓練の様子等をInstagramと共に文書等の配布として伝えるようにしていく。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名	重症児デイサービスmiagete (児童発達支援)
------	---------------------------

利用児童数 3 回収数 2

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1	1			・地域の子供たちと交流できる場や機会を事業所主体となって行えるようにする。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		1		・今後何かあればぜひ参加させてください。	・家族で参加できる行事等を行っていく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	1			・保護者同士で交流できる機会をつくっていく。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2				・インスタの投稿楽しみにしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1	・避難訓練や災害の研修・勉強会などの様子をSNSやお知らせ等で積極的に伝えていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1	・避難訓練や災害の研修・勉強会などの様子をSNSやお知らせ等で積極的に伝えていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				・安全への取り組みと計画を周知していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				・大満足です。これからもよろしくお願ひします。

事業所における自己評価結果

公表

事業所名		重症児デイサービスmiagete (児童発達支援)				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・活動スペースは広く、歩行可能な利用児にも十分な広さが確保されている。	・利用児童を増やす
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・基本的にはマンツーマンで対応できるよう職員配置されている。 ・休み、有給を調整して取れている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・ワンフロア。すべて見渡せ余計なものは極力片付いている。 ・活動スペースには柵などの高さのあるものはなく、バリアフリー化され、安全に過ごさせている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日の清掃、消毒を徹底し清潔な環境が保たれている。 ・毎日の掃除とこまめな消毒が行われている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・プライバシーは保たれている。個室は必要な状況はないが使用可能。 ・どの部屋も利用児が自由に出入りできている。 ・ベット、おもつ替えの場所が適宜使われている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・実施中。 ・評価表は今回が初めてなので表化できないが、送迎時の保護者との会話の中で意向の把握に努めている。	・本年度より評価が始まるため。 ・今から行うが、何かあれば改善していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・朝礼や全体会議で意見を出すこと、それをもとに業務改善ができています。	・定期的に面談などが行なわれるとよい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・第三者評価は受けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・事業所内でも行われている。外の研修にも参加させていただいた。 ・外部内部の研修を受けることができ、必要に応じて資料が提示されている。	・研修の機会が少ないと感じる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5		・公表用のプログラムは現在作成中
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・職員で共有検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・職員で共有検討している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・月担当を決め、その人を中心に行っている。 ・全体会議で意見を出し合うことができています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・全体会議で意見を出し合うことができています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		・預かり時間が短いときは、個別活動まで行っていない気がする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4	・時間は設けていないが職員も少なく情報共有できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・医ケア児は看護師も同席できるとよい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		・該当施設に通っている子がいない。 ・並行利用移行期間の子がいないため。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		・これから行う。 ・現時点では情報共有の機会が設けられていないか近々ある予定。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5		・わからない。 ・児童発達支援センターと連携を図っている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	・しんちびなど接する機会あり。 ・地域の子育て支援センターに行くことはあるが、他の子どもとの交流はない。感染症も心配。 ・地域の子育て支援センターへ行き同じ空間で過ごすことができている。	・子育て支援センターに行き地域の子供たちと触れ合える場に行っているが、深く交流するという部分ではまだできていない。今後地域の子供たちと交流できる場を主催できるようにしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎時など情報交換できている。 ・送迎時に話をすることでできている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	・チラシの配布など		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		・説明する機会に立ち会っていない。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		・保護者同士の交流ができる機会を作っている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			・インスタで発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		・外部講師が月に1度来所している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		・特に該当なし ・アレルギーがある子はいないが、いたら指示書に基づいて対応する。 ・該当の児童が不在のため。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		・研修に行っている。 ・虐待防止委員会を開いている。	・わからない
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	3		・身体拘束適正化委員会を開いている。	・わからない ・意識づけがしっかりできていない。研修への参加や勉強会を行っていく。